

## 1. 当院の新規採用医薬品等について

平成27年4月開催の薬剤委員会の結果、新規採用及び採用中止になった医薬品の詳細等をお知らせします。

### 新規採用医薬品

医薬品名	規格・単位	薬価	会社名
トリーメク配合錠	錠	7000.30 円	グラクソ・スミスクライン
リクシアナ錠 30mg	30mg/錠	748.10 円	第一三共
エネーボ配合経腸用液	250mL/缶	7.10 円	アボット

### 採用中止医薬品

採用中止医薬品名	規格	代替薬品等
ビラセプト錠 250mg (中外製薬)	250mg/錠	ノービア錠 100mg 他
ツムラ呉茱萸湯エキス顆粒 (ツムラ)	1000mg/g	-
グリセリンカリ液 (健栄製薬)	500mL	-

### 後発医薬品等の切替え品目

先発医薬品名	切替え後発薬剤名称	薬価
タケプロン OD 錠 15 (武田薬品)	ランソプラゾール OD 錠 15mg 「トーワ」 (東和薬品)	50.60 円
ディオバン錠 80mg (ノバルティス)	バルサルタン OD 錠 80mg 「トーワ」 (東和薬品)	54.60 円

マグネビスト静注シリンジ (10mL) (バイエル)	ガドペンテト酸メグルミン静注液 37.14% シリンジ 10mL 「F」 (富士製薬)	4785.00 円
マグネビスト静注シリンジ (15mL) (バイエル)	ガドペンテト酸メグルミン静注液 37.14% シリンジ 15mL 「F」 (富士製薬)	5401.00 円

## 院外処方登録医薬品

医薬品名	規格・単位	薬効	薬価
タケキャブ錠 10mg タケキャブ錠 20mg (武田薬品)	10mg／錠 20mg／錠	1.胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 2.下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎	160.10 円 240.20 円
ザーコリカプセル 200mg (ファイザー)	200mg／Cap	ALK 融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	9690.00 円

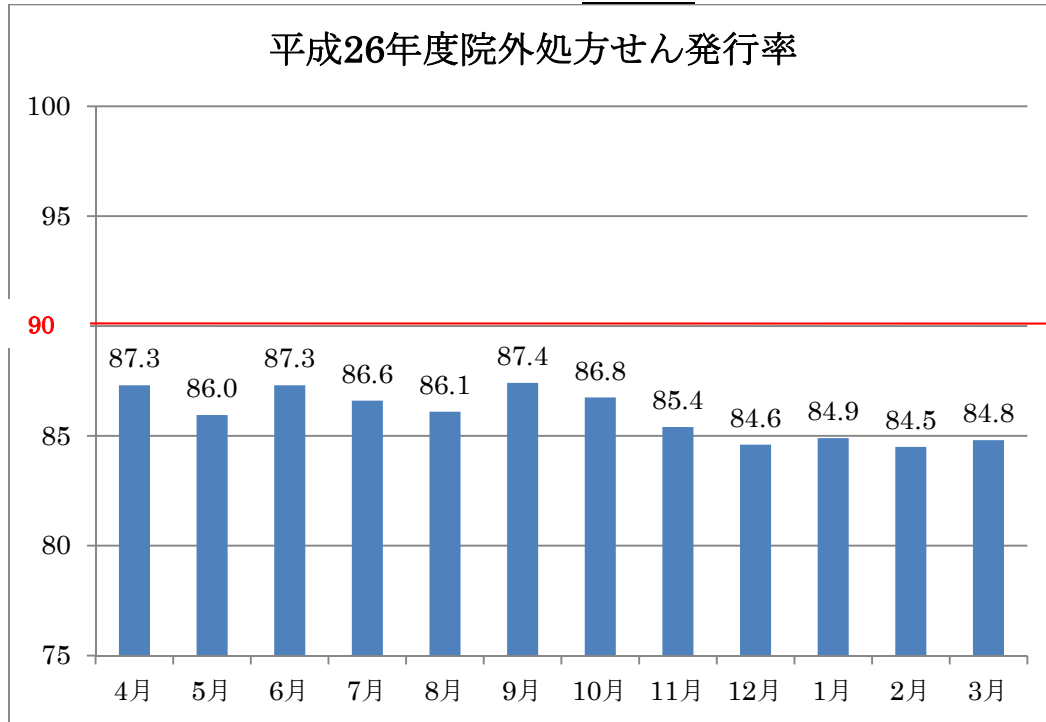
## 《新規採用医薬品》

商品名・英名 メーカー名・貯法	一般名・配合成分・規格・ 規制・生物由来	効能・効果
トリーメク配合錠 Triumeq combination tablets (グラクソ・スミスクライン)	ドルテグラビルナトリウム 50mg\アバカビル硫酸塩 600mg\ラミブジン 300mg ／錠 劇薬	HIV 感染症
リクシアナ錠 60mg Lixiana tablets (第一三共)	エドキサバントシル酸塩水 和物 60mg／錠	・非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 ・静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓及び肺血栓症)の治療及び再発抑制
エネーボ配合経腸用液 Enevo (アボット)	250mL／缶	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

## 2. 当院の院外処方せん発行状況について

平素より、院外処方せんの発行にご協力頂いております。下記の平成26年度院外処方せん発行率の表のとおり、当院の院外処方せん発行率は90%未満となっております。院外処方せんの発行促進により、医薬品購入費ならびに医薬品在庫金額の抑制につながりますので、さらなる院外処方せん発行率の向上にご協力をお願い致します。

### ●平成27年3月院外処方せん発行率：84.8%



## 3. 注入孔が側面にあるプラスチック針を用いての混注操作における注意点について

注入孔が側面にあるプラスチック針(PFMS 専用針など)を用いての混注操作時、注射針を根本まで穿刺せず注入し、混注薬液が漏れる事象が報告されているとのことです。当院においては、下記製品が該当致しますので、混注操作の際には十分ご注意ください。

詳細につきましては、別添の製薬メーカーからのお知らせをご覧ください。

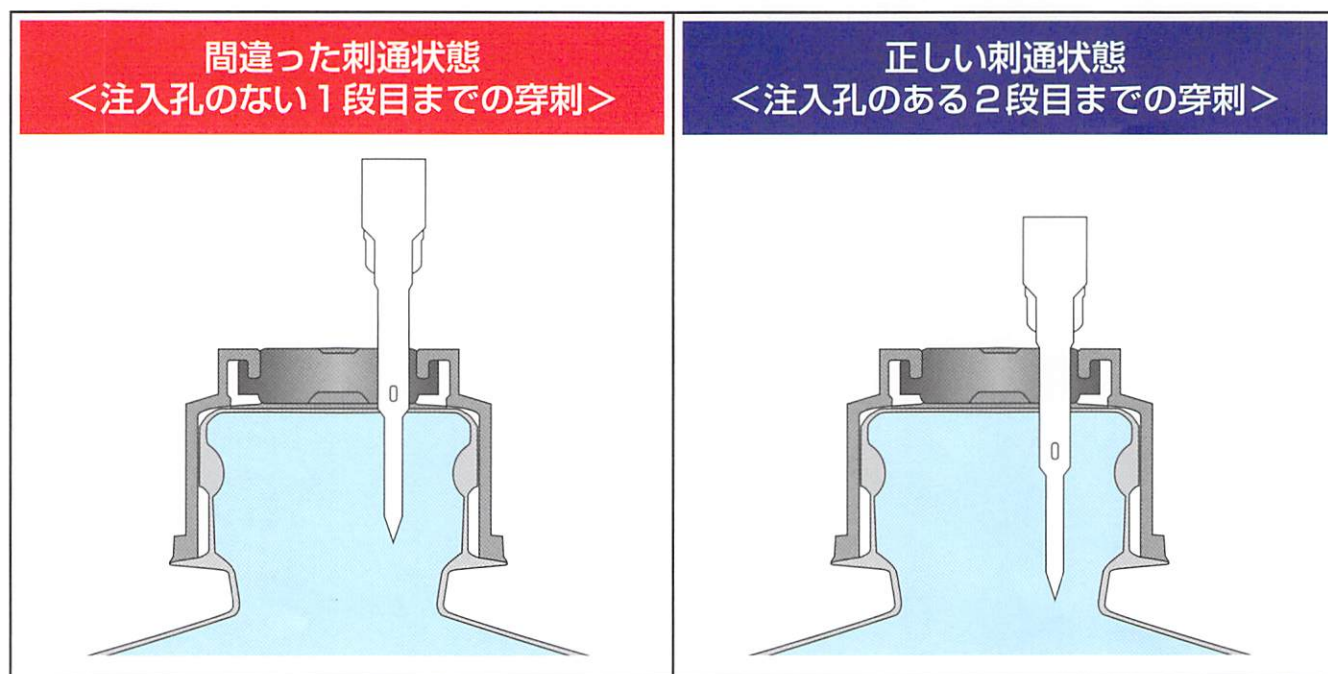
### 【当院採用の注入孔が側面にあるプラスチック針が添付されている製剤】

- ・KCL注 20mEq キット「テルモ」
- ・アスパラギン酸カリウム注 10mEq キット「テルモ」
- ・『リン酸2カリウム注 20mEq キット「テルモ」(限定採用)

# 混注可能な輸液製剤の 混注操作時における注意点について

2015年4月  
ニプロ株式会社

輸液製剤の混注操作時において、注射針を根元まで穿刺せず注入し、混注薬液が漏れる事象が報告されています。輸液製剤の混注操作においては、注射針を途中で止めず根元まで穿刺してから、混注薬液を注入してください。特に、注入孔が側面にあるプラスチック針（PFMS専用針など）を用いる場合は、注入孔を混注口内に確実にに入れてから、混注薬液を注入してください。



## 【対象製品】

アセトキープ3G注*	エスロンB注*	クリニザルツ輸液*
グルアセット35注*	生理食塩液「NP」	ソリュージェンF注*
ソリュージェンG注*	ハルトマン輸液「NP」	ハルトマン輸液pH8「NP」
ヒシセオール液	ヒシナルク3号輸液	ブドウ糖注5%「NP」

\*：製造販売 共和クリティケア株式会社

◆混注する際には、各薬剤の添付文書を確認の上、配合変化に注意してください。